

事業所名

一般社団法人OhanaHOUSE

支援プログラム

作成日

2026 年

3 月

31 日

法人(事業所)理念		「家族と過ごすお家の様に安心して楽しく過ごせる場所」となるよう、スタッフ一同、日々振り返り、改善と努力をすることをお約束します。 ご家族・お子様にとっていごちのいい場所、また「ただいま」と帰りたいような、そんな空間をめざし邁進して共に歩んでいけたらと考えております。					
支援方針		重症心身障がい児(者)が、地域社会の一員としての暮らしができるように療育のための支援、医療的ケア及びそれらに関する情報提供や利用者様の健康状態が心身ともに安定した地域事業での生活を継続できる為の事業を行うことを目的とします。					
営業時間		9 時 30 分	から	17 時 30 分	まで	送迎実施の有無	あり なし
本人支援	健康・生活	1検温、バイタルチェック。送迎時に家族より話を聞いたり、連絡帳での体調確認の徹底。 2医療的ケアが必要な児に対して安全にすごせるように主治医からの指示書や家族からの送り、訪問看護師との連携を取ります。 3食事形態や口腔機能感覚など配慮しながら楽しく食事ができる空間づくりを心がけます。 4食事、排せつ、睡眠、基本的な生活習慣がみにつけられるよう支援していきます。					
	運動・感覚	運動 個別リハや療育を通して粗大運動、ふれあい体操など実施し色々な姿勢を経験し成長に繋がれるよう支援します。 感覚 五感を基本とし(感触あそび、スノーズレン、読み聞かせ、音楽療法)刺激から様々な感覚を楽しめるよう支援します。					
	認知・行動	はじまりの会、おわりの会や好きな活動をなど同じことを繰り返すことによって、習慣や自発的な動きに繋がれるよう支援します。 活動前の事前説明、写真や実物を提示することによって、視覚、聴覚、感覚から必要な情報を認知機能の発達を支援します。					
	言語 コミュニケーション	簡単な手話、手振り、サインなど活用して、環境の理解や意志の伝達を支援します。 個々に合わせた状況での支援をし、自ら意志や気持ちを伝えられるよう支援します。					
	人間関係 社会性	遊びや集団活動を通し、自己理解、他者への興味を養えるよう支援します。					
家族支援		お子様の課題や成長を家族と共有し、寄り添いあえる関係を構築する (個別支援計画、面談、モニタリング)		移行支援		進路 保育園、幼稚園、学校に関する相談支援。 他施設との連携	
地域支援・地域連携		相談支援事業所との連携。 医療機関、訪問看護などお子様が関係する機関との連携。		職員の質の向上		事業所ごとの勉強会、合同勉強会、外部研修やJTを計画立案し参加することで質の向上につなげる。	
主な行事等		季節の行事、季節制作(七夕 水遊び お月見 ハロウィン クリスマス 正月 節分 ひなまつり)合同遠足 合同運動会 合同卒園・卒業式					